

予防注射について

なぜ予防注射を怖いと思う人があるのか

2年7組7班 メンバー

はじめに

班の中に「注射を怖い人」と「怖くない人」がいたから。

医療について調べていて、みんな共通して注射したことあるから。



実際に受けてみて

感想	人数	%
思ったより痛くなかった	85人	57.4%
思っていたのと同じくらい	37人	25.0%
思ったより痛かった	26人	16.5%

- 思ったより痛くなかった
- 思っていたのと同じくらい
- 思ったより痛かった

結果①

結果②

「注射が怖くなる原因」

- ・過去に強い痛みが恐怖を感じた
- ・過去に注射をした時、具合が悪くなった
- ・痛みを感じたし、具合が悪くなった人を目撃した

結果③

痛みを感じる原因

皮膚の表面には「痛点」があるから
血液と薬物との浸透圧の差があるから
注入される薬物と血液との
pHの差があるから

まとめ

注射の怖さは、針の痛みなども原因として挙げられたが、
痛みの予感や過去の何らかの経験、その場の雰囲気なども関係していた

考察

怖いと感じた人が多かったから、子供の頃に
痛い経験をしなければ
怖いと思う人は少なくなると考えた。

新たな疑問

怖いと思う原因である

「痛み」を軽減させるには
どのような方法があるのか。

調査方法



インターネット

注射の痛みをなくすには？

2年7組7班 メンバー

はじめに

前回、なぜ予防接種を怖いと思う人があるのかを調べて、怖いと思う原因が

注射の痛みだから、

その痛みをなくすには、どうすれば良いか知りたいから。

仮説

- 針を差さなければ痛くない。
- 注射の前に対策をすれば、痛みを軽減できる。

結果①

新しく開発されたフルミストインフルエンザワクチンで使われている鼻にスプレーをするだけでいいので痛みが全くない。



結果②

新技術「マイクロニードル」

マイクロニードルとは注射に代わる新しい投薬技術で、「極小サイズ」の針を並べたシート状の形で「肌には貼るだけ」が良い。

結果③

医療用麻酔シール「エムラパッチ」

皮膚に麻酔をかけることで

針の痛みを大幅に軽減

シールの他にクリームもある



考察

医療技術の進化で、針を指さない方法があるため、痛みを感じにくくなったと考えられる。

まとめ

インフルエンザワクチンの「フルミスト」や新技術「マイクロニードル」、注射前に行う「麻酔シール」などを使えば、痛みを軽減できる。

引用文献、参考文献

- 朝日新聞
- まとめクリニック
- 富士山ニードル

